

2024年10月17日 長崎東高等学校 特別活動

長崎県立長崎東高等学校1・2年生の特別活動の時間を使って、「プレパパ・プレママ教室」を実践する機会を頂きました。私達にとって、念願の長崎県内の高校での実践です。

特別活動は、主体的・対話的に深い学びを通じて、学校と社会のつながりを意識したキャリア教育を目指すものと謳われています。長崎東高等学校では、生徒自身の関心のあるテーマから進路を考えていく活動として、自主的な調べ学習を発展させ、地域の企業や専門職に交流を持つなどの手法で学びを深めているとのことでした。プロジェクトメンバーは看護職が中心ですが、特別活動の趣旨をふまえ、“認定遺伝カウンセラー”という仕事についても、アピールする時間を作ることにしました。



また、1・2年生40名の合同授業で、遺伝学（生物）の学習進度や選択状況も異なると考え、既習知識の確認の方法も工夫しました。1年生にとっては先輩と一緒にグループで緊張したという声もあり、アイスブレイクの時間をとるべきだったな…と思いました。今後のプログラムに活かしたいと思います。

学習後のアンケートには、32名より回答がありました。参加のきっかけは、“将来、医療系学部に進学したい”、“看護職に興味がある”、“生命や遺伝に関心がある”、“出生前診断に興味がある”などがありました。この講座より前に「出生前診断」について自分で調べたことがある生徒は2名、何度なく内容がわかると回答した生徒は16名でした。「NIPT」につ

いては、聞いたことがない生徒が24名でした。

授業の感想では、＜医療職として働くこと＞＜親として子どもを育てる＞という2つの視点での学びの記載がありました。

＜医療職として働くこと＞

- ・助産師として、妊婦さんに寄り添うときに必要だと感じた
- ・いろんな意見があることを知った
- ・聞いたことがない内容を詳しく学ぶことができた
- ・女性の意見が聞けた
- ・認定遺伝カウンセラーに関心を持った
- ・模擬受検で「陽性」と判定されることの気持ちがイメージできた
- ・有意義な学習だったが、将来目指す職業とは違うと感じた

＜親として子どもを育てる＞

- ・検査を受けるとき、考えるべき視点を学べた
- ・ちょっと早いと思ったけど、知ることは大切
- ・自分の身に起こることとして学習できた
- ・医療の道に進む人以外にも学習すべき内容だと考えた

講座中・後の質問でも「受検される夫婦のカウンセリング中の様子」や「データをどのように解釈するか」、「認定遺伝カウンセラーになるためには？」など、将来を意識した踏み込んだ内容が多く、関心あるテーマで継続して学んでいるからこそだと、感銘を受けました。是非将来、私達の仲間として一緒に働きたいです。できれば、長崎県で！

今回、この授業をコーディネートして下さった山道先生、岩永先生、ありがとうございました。

長崎東高等学校のHPでも実践の紹介をして頂きました！

[\(10/17\)プレパパ・プレママ教室 | 【公式】長崎県立長崎東中学校・高等学校](#)